

江戸から昭和へ紡ぐ

日本画の美展

令和4年3月12日(土)～5月8日(日)



谷文晁「孔雀図」

美術史家 高橋十志
ギャラリートーク

令和4年3月26日(土) 14:00～

無料 ※別途入館料が必要

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、
中止する場合があります。

あさご芸術の森美術館

〒679-3423 兵庫県朝来市多々良木739番地3 TEL 079-670-4111 / FAX 079-670-4113

■開館時間 / 午前10時～午後5時(入館は開館30分前まで)

■休館日 / 水曜日・3月22日(火) ※5月4日(水)祝は開館

■観覧料 / 一般…500円 / 大・高校生…300円 / 中・小学生…200円

20人以上の団体1人50円引き / 障がい者手帳(アプリも可)提示で本人と介助者1人無料
ひょうごっ子コロコンカード利用可 / 各種福利厚生割引あり

◆主催 / 朝来市、あさご芸術の森美術館

◆後援 / 朝日新聞豊岡支局、神戸新聞社、産経新聞社、新日本海新聞社、毎日新聞豊岡支局
読売新聞豊岡支局、両丹日日新聞社、サンテレビジョン、ラジオ関西

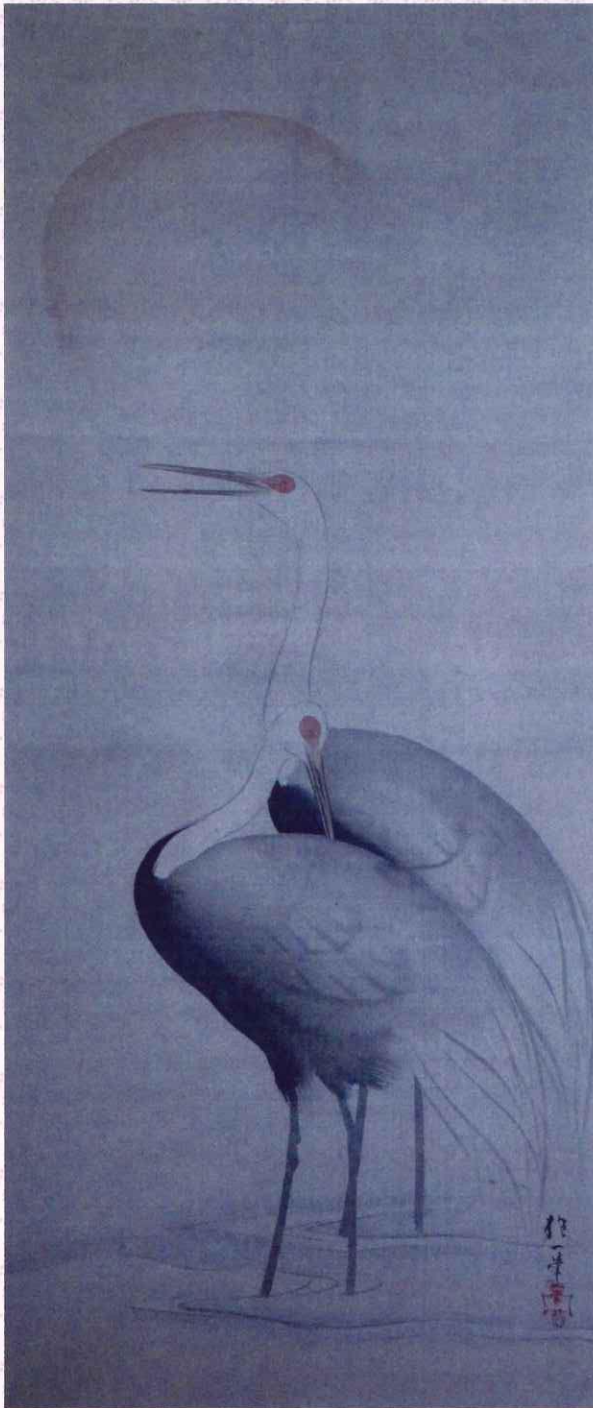
◆協力 / あさご芸術の森美術館友の会

未来へつなぐ
兵庫中央交流都市
あなたが好きなまち
朝来市

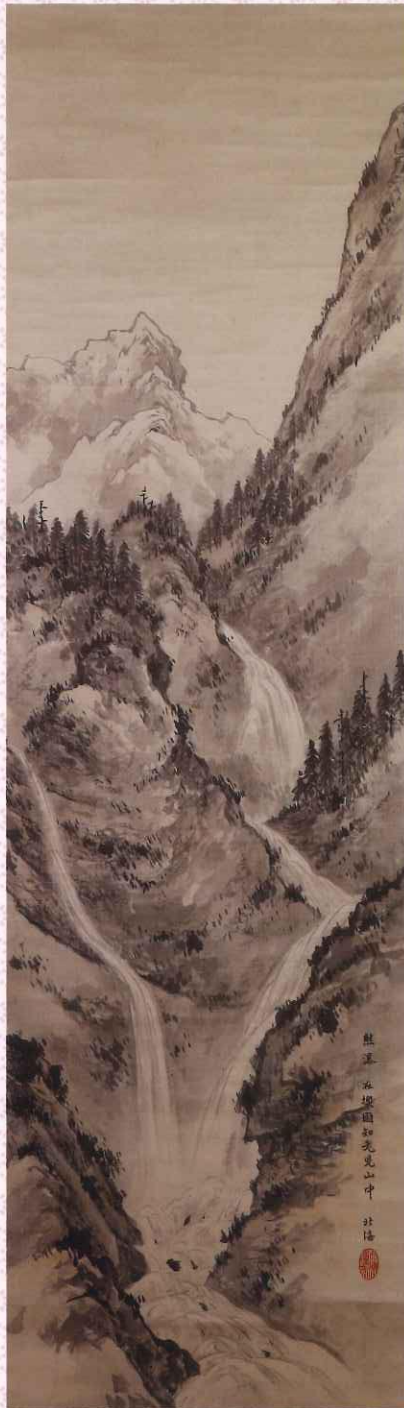
江戸から昭和へ紡ぐ日本画の美展

日本画の歴史は古く、流れは奈良時代にまで遡り、日本独自の技法や、大陸からもたらされた技法や文化等、多くの要素が交わりながら進化を続けてきました。また歴史の変遷とともに、時には権力者のステータスとして、また仏教信仰の伝達ツールとして、市民の大衆文化として、貴族・武士・大衆など、幅広いライフスタイルの中で、今もなお生き続け、愛され続けています。そして、日本画はその高い技術と美しさ、そして長い歴史の中で育まれた日本文化として世界的にも高い評価を受けています。

今回の企画展では、生野銀山に赴任し、仏人コアニエから地質学を学んだ高島北海をはじめ、伊藤若冲・狩野芳崖・河鍋曉斎・酒井抱一・谷文晁など、日本を代表する作家作品、約80点を展示予定。江戸から昭和へと日本画の歴史を紡ぎながら、美しいその世界に浸ってみてください。



酒井抱一「日の出双鶴図」



高島北海「水墨山水図」

あさごの小さなフォトグラファー展2022

会期…2022年3月12日(土)～5月8日(日)

会場…あさご芸術の森美術館 1階企画展示室

あさご芸術の森美術館

☎679-3423 兵庫県朝来市多々良木739番地3
TEL 079-670-4111/FAX 079-670-4113

(交通のご案内)

- JR播但線 新井駅下車 タクシーで8分
- 自動車 京阪神から120分 姫路から60分
中国自動車道(福崎I.C.)→播但連絡道(朝来I.C.)
→R312→あさご芸術の森美術館
舞鶴若狭自動車道(春日I.C.)→北近畿豊岡道(和田山I.C.)
→R312→あさご芸術の森美術館

朝来2022.3.20,000 この印刷物は環境に良いインクと紙を使用しています。



入館料割引券

〈本企画展期間中のみ有効〉

2022年3月12日(土)～5月8日(日)

50円割引券

本券1枚につき1人1回限り有効です。他の優待券・割引券との併用はできません。

あさご芸術の森美術館